

□都市計画道路「8・6・1札幌駅前通地下歩道」の変更について



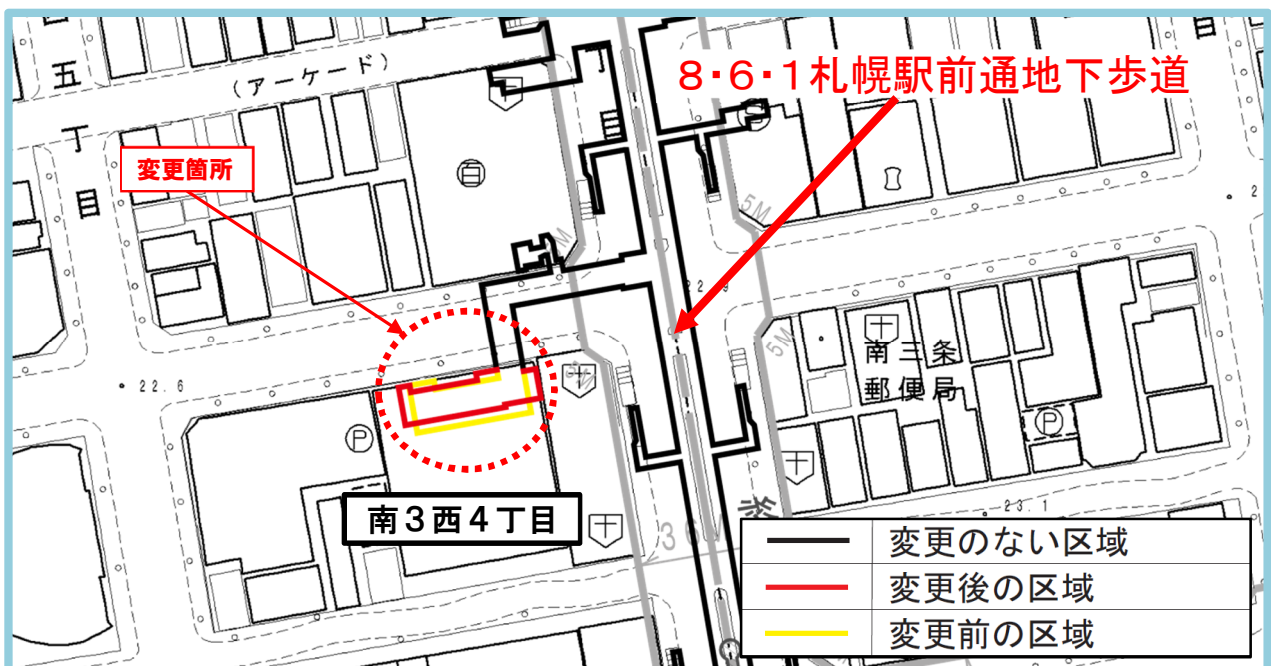
1 都市計画変更の内容

8・6・1 札幌駅前通地下歩道

変更内容：一部区域の変更（形状の変更）

2 区域変更図

都市計画道路「8・6・1札幌駅前通地下歩道」



3 経緯及び変更理由

- ・札幌駅前通は「第2次都心まちづくり計画」（平成28年策定）において「にぎわいの軸」として位置づけられており、札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化することとしている。
- ・札幌駅前通における地下歩道のうち、地下鉄大通駅一すすきの駅間に位置する地下街ポールタウンの公共地下歩道である「8・6・1 札幌駅前通地下歩道」（昭和44年決定、昭和46年供用開始）が都市計画道路として整備されている。
- ・変更対象箇所は札幌市中央区南3条西4丁目地内における民間ビル内に取り込まれている出入口であり、当該ビルの建て替えに伴い、施設計画と整合を図るために区域の一部を変更するものである。
- ・現況は、地下歩道と建物敷地との接続部に19段の階段があり、建物敷地内ではエスカレータあるいは階段を利用して地上と繋がっている。エスカレータは上り専用を1台設置しており、下りのエスカレータは無い。
- ・今回の都市計画変更による効果として、地下歩道と建物敷地との接続部の階段が撤去され、上りと下りのそれぞれ専用のエスカレータが設置されることで、地下歩道と地上部を繋ぐ動線の利便性向上が期待される。